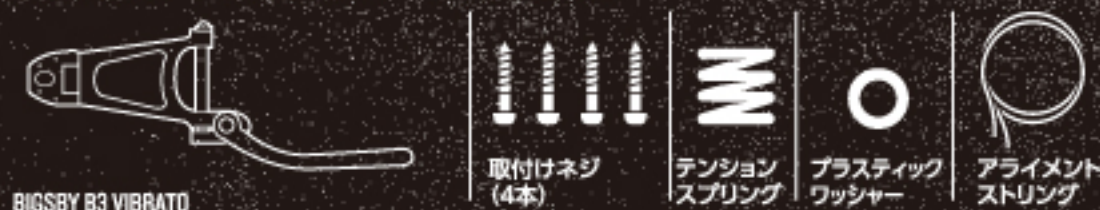


BEFORE YOU BEGIN

BIGSBY B3 VIBRATOの取付け方法

BIGSBY B3 VIBRATO

ビッグスビーB3ヴィブラートの付属品



取付けに必要な工具

- ・ドリルビット: 5/64" (1.9mm)
- ・ドリル
- ・プラスドライバー

取付ける前の確認



事前にギター本体に問題がないか下記の項目をチェックしてください。問題がある場合は、ビッグスビー・ヴィブラートの機能を十分に発揮できない場合がありますので、取付ける前に修理しておきましょう。また、取付けに自信がない場合は、プロ・リペアマンに依頼することをお勧めします。

- ・チューニング・ペグ
- ・ナット
- ・トラスロッド
- ・ネック・アングル
- ・弦高
- ・イントネーション
- ・ブリッジ
- ・弦

1 POSITION THE VIBRATO ヴィブラートの位置決め

- ギターから弦、テールピース、ストラップ・ピン(ブリッジ側)を外します。
- ストラップ・ピンの穴に、ヴィブラートのヒンジ部分を合わせてください。
- ヒンジ取付け面がフラットであるか確認し、さらに、ヴィブラートのフェルト・パッドがギターのボディ・トップ面に対して水平で、尚且つトップ面と接触しているか確認してください。 **図1**

※ギターによってはストラップ・ピンの位置を変更しなければならない場合があります。また、ギターによっては取付けられない場合があります。

TIP

オリジナルのテールピースを取り外した後の穴の処理につきましては、プロ・リペアマンに依頼することをお勧めいたします。
www.bigsbyguitars.comで、他の人の方法を参照することができます。(英文サイト)

2 CHECK THE ALIGNMENT 調整チェック

- 付属のアライメント・ストリングを6弦と1弦へ張ってください。 **図2A**
- アライメント・ストリングスがネックに対して真っ直ぐになるように、ヴィブラートの位置を動かして修正します。この時にアライメント・ストリングがナット溝とブリッジ溝に乗っていることが重要です。 **図2**
- ヴィブラートの取付け位置がセンターにくるように調整してください。
- ヴィブラートの取付け位置が確定したら、取付けネジの位置へマーキングします。

TIP

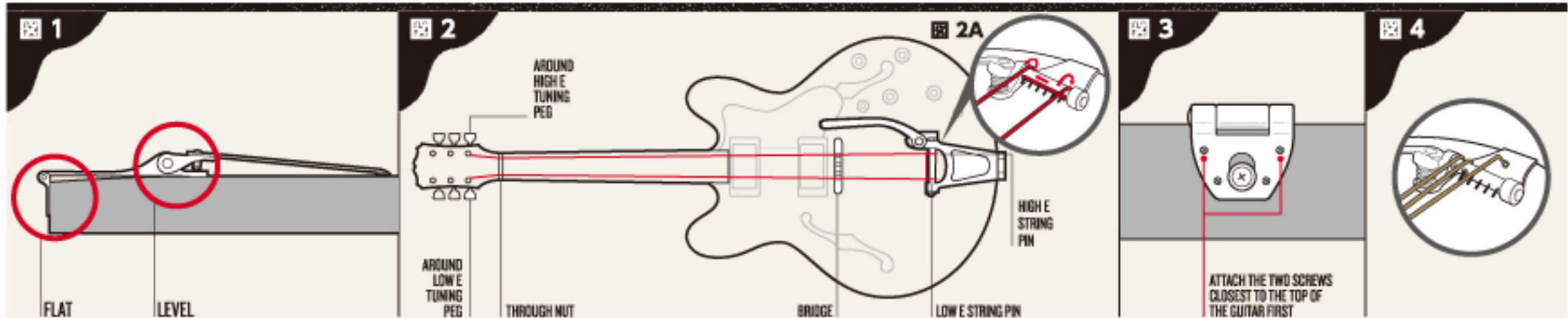
ボディ面にマスキング・テープを貼ってから、鉛筆などでマーキングするようすれば、不要な傷を防止することができます。

3 ATTACH THE VIBRATO ヴィブラートの取り付け

- マーキングした場所へドリル(ドリルビット1.9mm)を使用して、ネジ穴を開けます。付属の取付けネジより深い穴を開けないようにしてください。
- ヒンジ部分を付属の取付けネジを使用して、ギターのボディ・トップの方からネジ止めし、アライメントを確認しながら下もネジ止めします。 **図3**
- **図4**を参考に新しい弦のボールエンドをテールピースのピンに引っ掛けて、弦を張ってください。
- ハンドル(アーム・バー)の下にプラスチック・ワッシャーをセットし、テンション・スプリングを入れます。
- 弦をチューニングして、ストラップ・ピンの取付けを行ってください。

TIPS

ネジ穴の上を、ハンド・ドリルなどを使用してエッジの面取りすることで、ギターの塗装面の割れなどを防ぐことができます。ドリルビットにマスキング・テープで取付けネジよりやや浅い位置にマーキングすることで、ネジ穴を深く開けすぎないように注意することができます。弦のボールエンド付近を曲げることで、テールピースのストリング・ピンに引っ掛けやすくなります。 **図4**



BEFORE YOU FINISH

最終チェック

- ヴィブラートが正しく確実に取付けされているかどうか確認してください。
- 弦がしっかり張れているか確認してください。
 - ヴィブラートを掛けた時に、弦がスムーズに動くか確認してください。動きが悪い場合は、ナットとブリッジの溝の調整が必要になります。
 - 弦高を確認してください。必要に応じてトラスロッドやネック・アングルの調整が必要になります。

Performance Tips

- ナット、ブリッジの溝にグラファイト(鉛筆の芯)を塗ると動きがスムーズになることがあります。ヤスリを使用してナット、ブリッジの溝の調整に自信がない場合は、プロ・リペアマンに依頼してください。
- ハンドルの高さは、ショート、もしくはロングスプリングを使い分けて調整してください。(注意: ロングスプリングは別売です。)
- ハンドルの高さには、使用している弦のゲージも関係してきます。

取付け後の確認

ヴィブラートを取付けた後に、ギターの各部に問題がないかチェックしてみましょう。

- ・チューニング・ペグ
- ・ナット
- ・トラスロッド
- ・ネック・アングル
- ・弦高
- ・イントネーション
- ・ブリッジ
- ・弦